



産婦人科 教育プログラム

診療科の特徴

- ☑ 「ダ・ヴィンチ」に代表されるロボット支援下手術において、**婦人科手術プロクターが在籍**する当院では、東海3県の病院のうち、4位のペースで症例が増加中
- ☑ 医局への入局なく、**産婦人科専門医**と**婦人科腫瘍専門医**の取得ができる
※単独で取得できる病院は愛知県で10施設のみで、腫瘍専門医が2名在籍し丁寧な指導が可能
- ☑ 指導医からしっかりと指導を受け、**内視鏡技術認定医**取得できる。
- ☑ 診療内容は産科だけではなく、婦人科腫瘍（悪性腫瘍、良性腫瘍ともに）手術、腹腔鏡手術、月経困難症、更年期障害等**幅広い症例が経験できる**

 症例数（年間）

手術：437件 / 分娩実績：722件（内帝王切開：147件）

2022年 一宮西病院実績(2021年4月～2022年3月退院患者の統計)

| | |
|--------|-----|
| 悪性腫瘍手術 | 61件 |
|--------|-----|

（前年比**110%**）

| | |
|-----------|------|
| ロボット支援下手術 | 144件 |
|-----------|------|

愛知県 / **2位** （前年比**271%**）

| | |
|-------------|------|
| 良性腫瘍（子宮・卵巣） | 101件 |
|-------------|------|

愛知県 / **14位・20位**

| | |
|--------|------|
| 腹腔鏡下手術 | 121件 |
|--------|------|

| | |
|--------|-----|
| 子宮鏡下手術 | 16件 |
|--------|-----|



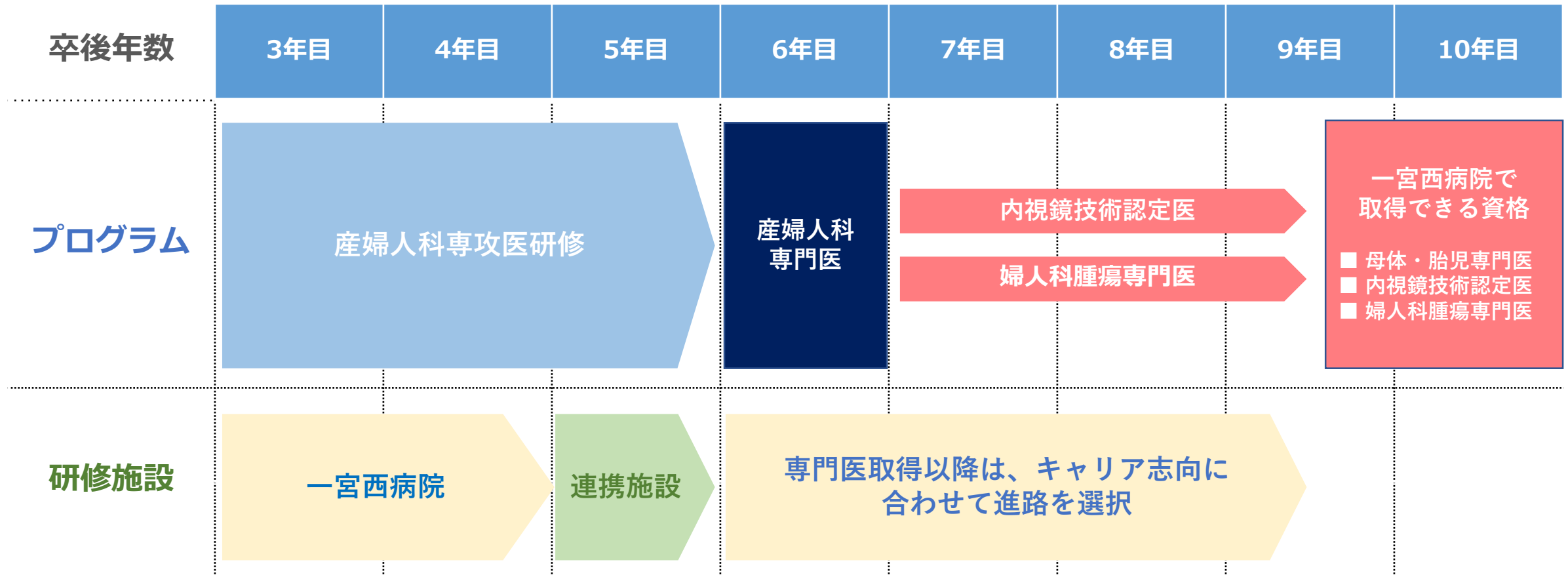
✍️ ロボット手術

「ダ・ヴィンチ」に代表されるロボット支援下手術は近年注目されつつあります。婦人科領域におきましてもロボット支援下手術が急速に普及してきました。病気を治すことはもちろんですが、婦人科手術プロクター（※）が在籍する当院では、安全・確実な手術を心がけ、患者さんのメリットが大きいロボット支援下手術を、積極的に行って参りたいと考えております。

一宮西病院では2021年3月に、従来型よりも操作性・機能が向上したダ・ヴィンチのフラッグシップモデル「ダ・ヴィンチXi」を導入。

導入26カ月で、500症例突破は、東海3県の病院において、4位のスピードとなり、開発元であるインテュイティブ社から表彰盾が贈呈されました。

産婦人科のキャリアパス（例）



産婦人科の連携先病院

- ▶ 医局に縛られず全国の有名病院との連携により、様々な専門医資格を取得可能です

神奈川県

湘南鎌倉総合病院

病床 : 669床 救急指定 : 3次急
 救急患者総数 : 67,204名/年
 救急搬送患者 : 22,342名/年
 救急ワークイン : 44,862名/年



北海道

手稲溪仁会病院

病床 : 670床 救急指定 : 3次急
 救急 : 5,802台 / 年
 入院 : 18,096名 / 年
 OPE件数 : 8,549件 / 年
 ハイボリュームな症例で肝胆膵領域を幅広く経験できる



一宮西病院

年次ごとの到達目標

| 医師年数 | 分娩 | 帝王切開執刀 | 婦人科手術執刀 (ロボット支援下手術) | アカデミック |
|------|----------|--------|------------------------|--|
| 3年目 | 100件 | 30-50件 | 25件 | <ul style="list-style-type: none">・ 学術集会での発表ができる・ 論文1編作成 |
| 4年目 | 100件 | 50件 | 50件 | <ul style="list-style-type: none">・ 学会で討論に参加し自分の意見を述べるができる・ 全国規模の学会にて論文発表 |
| 5年目 | 連携施設での研修 | | | |

若手医師からのメッセージ

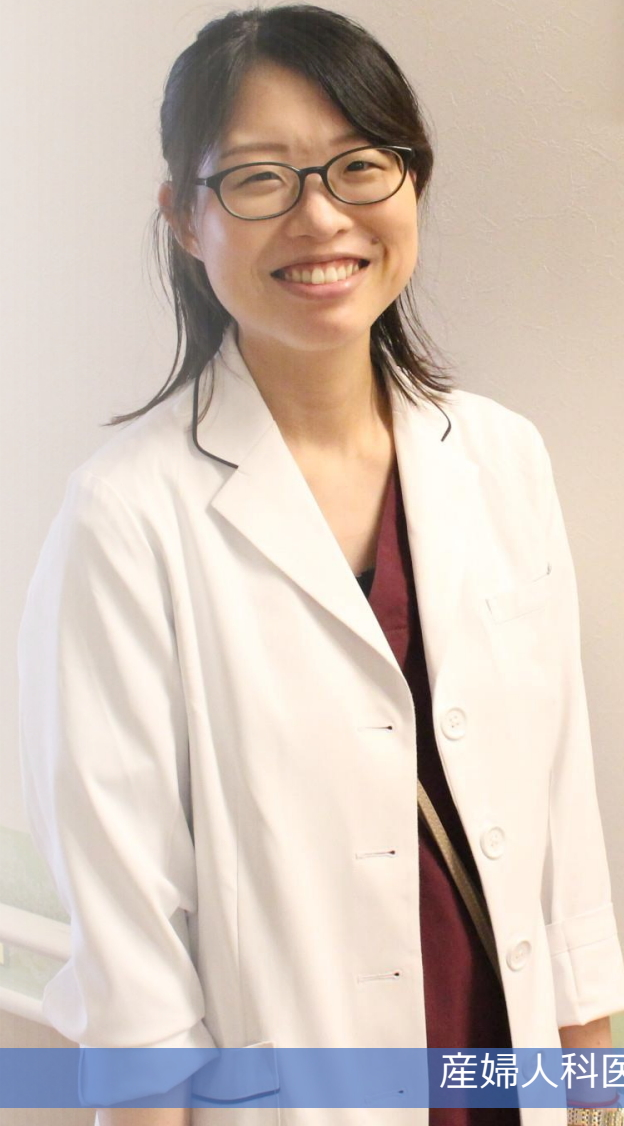
当院は腹腔鏡下手術、ロボット支援下手術を含めた婦人科手術の件数が多く、また婦人科内視鏡技術認定医、ダヴィンチプロクターの資格をもつ指導者が在籍していることから十分なバックアップ体制の元、多くの症例経験を積めることが魅力だと考えています。若手の多くいる病院では症例の取り合いという状況もおきえますが、当院では心配はないかと思えます。

また婦人科腫瘍専門医が2名在籍しており、悪性腫瘍の手術や治療も積極的に行っているため、市中病院にいながら高度な癌治療を間近で学ぶ機会を持つことができ、知識向上に役立てられる点も当院の特色といえます。

周産期分野では、早産域の分娩対応ができないことからハイリスク症例は扱っていませんが、比較的低リスクの妊婦さんの管理については十分学ぶことができます。

当院産婦人科には様々な病院で経験を積んだ指導医がいるので、自分に合ったロールモデルの先生を見つけることができるのではないのでしょうか。

産婦人科の知識を幅広く身に付け、かつ手術や癌治療を積極的に学び経験したい先生におすすりめしたい病院です。



論文作成のサポート

- 専門医に必要な論文の作成指導も積極的に行っています
- 専攻医となった初年度から、研修医時の症例を活用して、論文作成を始めて、学会発表の準備を進めていきます
- 研究や論文に費やす時間をしっかり持って作成してもらいます



【発表経歴:2023年】

- 坪内寛文医師が「第63回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会」で学会発表
- 田中幸余医師が「第65回日本婦人科腫瘍学会」でポスター発表

【論文：2021年】

- 共同論文が「東海産科婦人科学会雑誌 Vol.58 別冊」に掲載